

科目名	メディアコンテンツ応用		英文表記	Application of Media Contents		2016/3/28	
科目コード	5306					作成	
教員名:西村 篤 技術職員名:なし							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
メディア情報工学科			5年	選	学修	2単位	講義
授業期間							
前期							
科目目標	(1)メディアコンテンツの社会的応用について理解し、これまでに習得した作品制作に関する知識および技術を応用して、作品を企画できるようになる。 (2)メディアの概念を地域社会にまで拡張し、幅広い視野からメディアコンテンツを考えられるようになる。						
総合評価	(1)自学自習レポート(9回分)(10%)、(2)授業内課題(40%)、(3)作品(40%)、(4)品評会結果(10%)により評価し、60%以上の達成を合格とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック
	①	メディアコンテンツの価値について考えられるようになる。(A3)	作品とレポートの内容によって評価する。	評価基準に照らして価値を相対的に捉えると同時に、自分自身の価値基準について明確にすることができる。	評価基準に照らして価値を相対的に捉えることができる。	価値を相対的に捉えることの必要性について理解できる。	
	②	メディアコンテンツの社会的応用について理解し、具体的に作品の企画を考えられるようになる。	作品とレポートの内容によって評価する。	メディアコンテンツの社会的応用について、具体的な対象を題材に試案を考えることができる。	メディアコンテンツの社会的応用について既存の事例をアレンジして独自の試案を考えることができる。	メディアコンテンツの社会的応用について既存の事例の方法や価値を理解することができる。	
③	授業に主体的に参加できるようになる。	レポートの内容および授業での作業観察によって評価する。	与えられた視点と方法を踏まえ、それとは異なる視点や方法で考察することができる。	与えられた視点と方法を独自の方法で発展させることができる。	与えられた視点や方法について理解することができる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学	
	○	○	○	○	JABEEプログラム教育目標	A-3	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	30	70	100	
基礎的理解	①			10	20	30	
応用力(実践・専門・融合)	②			10	40	50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	②				10	10	
主体的・継続的学修意欲	③			10		10	
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で果たし得る機能を持った意味の世界であることを学びます。視野を広げ、複数の新しい観点から物事を見ることができるようになることを目指します。【授業方針】前半はメディアコンテンツの社会的応用、特に地域とメディアコンテンツとの関連についての事例について「風景デザイン」という視点を導入しつつ講義形式で学習する。後半は、受講生が作品の企画とプレゼンテーションを行います。【履修上の注意】この授業では問題を個人的な問題と結び付け、自ら感じたり考えたりすることが重要ですので、主体的な取り組みを心掛けて欲しい。						
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はありません。印刷物等を適宜配布します。						
授業計画							
週	授業項目	時間	授業内容			自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック
1	ガイダンス	2	授業概要・評価方法について説明する。				

2	風景デザイン(1)	2	関連する学説および事例の紹介	事例調査
3	風景デザイン(2)	2	関連する学説および事例の紹介	事例調査
4	地域社会とメディアコンテンツ(1)	2	関連する学説および事例の紹介	事例調査
5	地域社会とメディアコンテンツ(2)	2	関連する学説および事例の紹介	事例調査
6	事例研究(1)	2	ドキュメンタリー作品の研究	事例調査
7	事例研究(2)	2	ドキュメンタリー作品の研究	事例調査
8	作品企画についての説明	2	作品の企画と発表の進め方について説明する。	授業内で終わらなかった作業。
9	作品企画と発表の準備(1)	2	企画と発表の準備を行う。	
10	作品企画と発表の準備(2)	2	企画と発表の準備を行う。	
11	作品企画と発表の準備(3)	2	企画と発表の準備を行う。	
12	作品企画と発表の準備(4)	2	企画と発表の準備を行う。	
13	作品企画と発表の準備(5)	2	企画と発表の準備を行う。	
14	品評会	2	企画の発表を行う。	
15	総括	2	全体のまとめを行う。	
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	授業で学んだことを復習するとともに、自分の考えをまとめて、レポートを提出する。			60分×9回
②	企画・発表準備			120分×3回
備考欄				
<p>(共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目の主たる関連科目はメディアコンテンツ基礎(1年)、メディア情報工学実験 I (2年) <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)</p> <p>科目区分 関連科目 工学及び周辺技術等に関する科目</p>				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|